

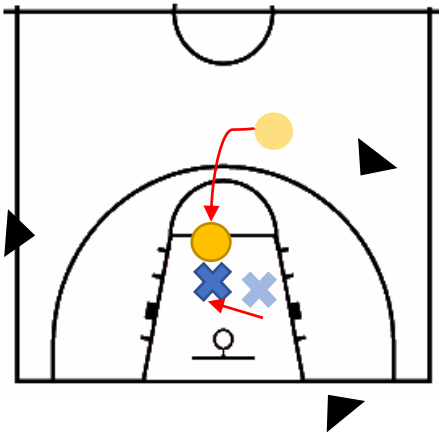
県外派遣報告書

栃木県バスケットボール協会 審判部

大会名	令和元年度 第74回国民体育大会関東ブロック大会	開催地	千葉県船橋市
報告者名 (所属連盟)	赤羽沙耶	派遣期間	令和元年8月23日～25日
参加者 (所属都県)	本部：渡邊整（栃木）、北島寛臣（埼玉） 指名：古畑香子（茨城）、加納康平（神奈川）、大野太裕（茨城）、漆間大吾（東京） 茨城：稲葉威、二宮隆二、中山克則、一色渉 群馬：星野由貴、小澤朋克、穂川苑子、内野翔太 神奈川：大庭英裕、長谷川裕、中澤美保子、佐藤優樹 埼玉：安西郷史、竹澤友美、眞榮喜工、大井陽平 東京：石田祐二、川崎洋次郎、本間さとみ、笠島喜与都 山梨：小澤勤、河野仁、佐田幸一、前田菜津子 栃木：渡邊諭、平出剛、梶崇司、赤羽沙耶 千葉県審判員		

【審判会議内容】

一つのケースに対してディスカッション形式で行った。



block or chargeのケース

- ①ルール
- ②再開方法
- ③プライマリ

の3点についてディレクションを行った

①ルール

■判定とその理由

今回のクリップの判定はどちらでも説明ができるが、どちらかの決断（判定）が必要
 大事なことは、ルールに沿って判定を導き出すこと

- ・リーガルガーディングポジションとは？
 - 相手チームのプレイヤーに正対する
 - 両足をフロアにつける
- ・ボールを持っているプレイヤーへのディフェンスの仕方は？
 - 相手の速さと距離にとらわれずにガードすることができる

2人の審判が同じ触れ合いに関してそれぞれ別の角度からブロッキングとチャージングを同時に宣した場合



事象の前後を決定することができないことから、クルー間でコミュニケーションをとり、「オフェンスに明らかな責任がない時はディフェンスのファウル」とする

②再開方法

■再開方法をガイドラインに沿って導き出す

事象の前後を決定することができないことから、クルー間でコミュニケーションをとり、「オフェンスに明らかな責任がない時はディフェンスのファウル」とする

- ・ディフェンスファウルと決定した場合、オフェンスファウルは取り消し
- ・プレーはAOSに入っているので2本(このクリップの場合)のFTが与えられる
- ・コーチへの説明、FTの準備等の役割も確認してから再開



コミュニケーションはショート&クリア

③プライマリ

■パイプに対して真っ直ぐ降りてくるドライブ

- ・パイプに対して上から入ってくるドライブ（青矢印）

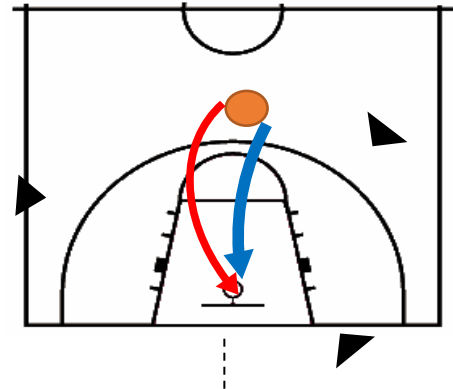
→リードプライマリ

- ・パイプに対してミッドラインを越えてパイプの横から叩くドライブ（赤矢印）

→センタープライマリ

- ・センターは常にリードが鳴る意識を持っておく
- ・ダブルホイッスル→アイコンタクト→プライマリ
- ・ジェスチャーはダイレクトに出さない

タイムストップでホールドしてからプライマリが示す



県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:令和元年 8月 24日(土)

審判員名	赤羽沙耶	CC	伊橋隆浩 (千葉)
カード	成年女子1回戦 埼玉-山梨	U1	笠島喜与都 (東京)
◇ ミーティングの内容			
・リードローテーションを1テンポ早くして良い。			
・もっと自分の判定に自信を持つこと。			
《審判主任》 星野由貴(群馬)			

割当日:令和元年 8月 25日(日)

審判員名	赤羽沙耶	CC	安西郷史 (埼玉)
カード	成年女子準決勝 東京-千葉	U1	佐田幸一 (山梨)
◇ ミーティングの内容			
・プレーに対する小さな動き (ポジションアジャスト) を工夫すると良い。			
・とくにピックプレイなどでのポジションアジャストが必要。			
《審判主任》 大庭英裕(神奈川)			

【感想・県内審判員へ伝達したいこと】

今回、初めて国民体育大会関東ブロック大会に参加させて頂きました。また、今回の講義は今まで経験してきた形式とは異なり、1つのクリップについて皆で考えていくディスカッション形式で行いました。とても新鮮に感じるとともに、トップリーグを担当すると常にこの様なことを行っているのかと興味深く感じました。トップリーグだけでなく今の自分自身のレフェリースキルを上げるためにも、またクルーとして良いゲームをつくり上げていくためにも、必要なことなので今後の活動に繋げていきたいと思います。

最後に今回の派遣に際しましてご配慮頂きました渡邊整ブロック長、渡邊諭県審判長をはじめ県内審判員、千葉県の審判員の皆様、大会関係者各位に感謝申し上げます。